

会 議 録

会議の名称	町長とのタウンミーティング（車座座談会）	
開催日時	平成28年2月22日(月)午後2時から3時30分まで	
開催場所	川島町コミュニティセンター大会議室（2階北側）	
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	<p>「まちづくり懇談会」実施要領より 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報公開を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。</p>	
出席者	団体側	17名
	町側（7名）	町長 飯島和夫、副町長 若林昌善、政策推進課長 石島一久、総務課長 宇津木康明、健康福祉課長 小澤浩、政策推進課秘書室長 石川勉、主査 友野篤司
配布資料	次第	
審議会等の内容・概要		
<p>(団体側あいさつ) 町のいいところを探し、町が元気になるように、話を広げていきたい。</p> <p>(町長あいさつ) 昨年2月2日初登庁してから1年が経過し、現在、平成28年度予算案を編成しました。限られた職員、限られた予算で実施していく必要があるが、平成28年～32年までの第5次川島町総合振興計画後期基本計画を、落ちがないよう実行していきたい。住民の皆様と寄り添って、動き出したいと考えています。今日は、様々なものを議論したい。</p> <p>(町長) 町はきれいな水と空気が特徴ですが、町税収は全体で約30億あります。圏央道川島インターチェンジ北側開発で、固定資産税が約70万円から約4億円に増えており、さらに出丸専用用水路沿いでも増えています。戸守地内のベルーナは撤退してしまったが、そこへレッドウッドが入り、約3千万円の固定資産税を確保しています。 また、カインズ東側から落合橋にかけて約6.9ヘクタールの開発を考えており、地権者協議会を立ち上げています。開発業者や建設業者と提携し、2、3年のうちに実現化したいと考えています。そこへ「ふれあい広場」を作ることを考えており、例えば、都内を通る高速バスの離発着所を作れば、成田空港まで1時間20分程度でつながります。また、農産物直売所や健康モールを作り、「耳鼻咽喉科」の医院を誘致することも考えています。 個人の住民税は右肩下がりとなっている一方で、工業団地に係る税は右肩上がりとなっています。例えば、中小企業の食料品会社を誘致し、正規従業員に町に住んでもらいたい。来年度には、企業と労働者とのマッチング事業として、町民の皆様を対象とした、正規従業員の就職相談会を行う予定もあります。加えて、障がい者就労を目的とした目的子会社（施設）を作っていただくといったことにも繋げていきたい。 また、土地改良区の話だが、梅ノ木貯水池の太陽光発電のメガソーラーは、借地料で約1800万円、実際に町には1200万～1500万程度入ってきます。</p>		

(団体)

町外から来てくれる、楽しい町、遊び心がある町にしたい。例えば「工場見学マップ」を作って、ガリガリ君とか掲載していれば楽しい。

電車の不便はあるが、位置は県内の真ん中なので、バスターミナルを作る等すれば、自動車での移動は便利なのではないか。

(町長)

和船で舟遊びという計画もあります。例としては川越市の新河岸川で行われた観光舟運のようなものを目指しています。

(団体)

桜のお祭り等で行い、口コミで広がると良いです。

(政策推進課長)

空バスと揶揄された以前のバス試行運転は、マイクロバスでないと国から補助金が出ないという当時の事情もあり、やむを得ない面もありました。地域公共交通会議の中での話では、走らせれば乗りますという話もありましたが、いざ運転が始まってみたら誰も乗らなかったという状態でした。

現在検討中のものとして、一つ目は、東松山市のデマンドタクシーを例に、500円で町内を走れるものを考えています。例えば埼玉医大まで1,500円とか、前日(乗る前までの)予約で走れるものを考えています。

二つ目は、社会福祉協議会の「ぐるっと川島」の改良を考えています。予約制で、やすらぎの郷と指定のバス停との往復でも使用できるようにし、なおかつ現在の路線も継続して使用できるようにしていく予定です。

(団体)

社会福祉協議会の「ぐるっと川島」は一般の方々が乗っていいか分からないです。また、そもそも知られていないようです。

(団体)

土手に捨てられた放置ゴミがひどいです。

(町長)

「捨てないでください」旨の看板を設置し、一定期間周知してから町が処分しています。

(団体)

学校の合併の話です。残った学校はどう使っていくのでしょうか？

(町長)

そこに住む地域の方々にどう使っていきたいか議論していただきたいです。それから町も話に加わりたいです。例えば文化・歴史遺物として使用するとか。今後、「旧庁舎利用検討委員会」を開く予定もあります。

(団体)

管がい用排水路の負担金の支払いですが、給水開始時期がそれぞれで違うのに、不公平があるのではないのでしょうか。

(町長より)

土地改良区の話で詳細は不明です。しかし、給水だけではなく、樋管管理等他にもいる

いろとお金がかかっているようですので、ご容赦いただきたい。

(町長)

農業の集約の話ですが、平沼でようやくまとまりつつある。農業の6次産業化も進めたい。

また、自転車の練習場として町外から住民を呼ぶ方法もあります。平成の森公園にも距離の路面表示をする等方法はあります。

教育でいえば、例えば秋田県のようなしっかりした教育を考えたい。学習塾との連携も考えています。学力レベルの底上げは、住んで頂く際の選択基準にもなるもので、重要施策の一つであると考えます。